

名水のむらジッキョ、自立・創 造委員会 (NPOファングル塾)

団体の紹介・活動の目的

当団体は、大島郡知名町瀬利覚字に、平成15年6月に設立された NPO 塾です。会員数82名。元気・結い「いいたば」など、住みやすい地域環境の継続活動をしています。

人口減少・高齢化・子どもたちの急激な減少などで、かつての元気さや・結い(いーたば)と言われる助け合いの心などが希薄化し、住みよさに陰りを生じつつある地域に、再び元気さと孫達の時代にもなお住みやすい環境であることを活動の目的としています。

連携・協力している団体など

知名町役場・瀬利覚字・子ども会育成会・福寿会 (老人会)・ フリージアサロン (高齢者サロン)

活動の内容

- ○あぐの会(高齢者のたまり場・毎週火曜日夕方)
- ○やさい市(毎週水曜日早朝)
- ○集落散策ガイド (観光ガイド)
- ○絶滅危惧種トーウギョの保護増殖
- ○元気・環境部(平成の名水ジッキョヌホーの環境保全)等、字の元気の回復・それら活動を孫達と主に協働活動している。

また、毎年夏休み中に「夏休み子ども道場」を開設し、宿題・ 地域の歴史自然探索など、孫達に伝統・習慣などを継承して いる。さらに、H30は字の福祉部提携フリージアサロンを協 働開設、高齢者のいきいき対策事業も開始しています。



「夏休み子ども道場」

毎年夏休み期間中、子ども達に館(ファングル塾)を解放、宿題・字の歴史文化の 学習・野外探索(森林・水性動植物・海辺等)を行っている。



「あぐの会(たまり場の経営)」

毎週火曜日、夕暮れ近くの楽しいだれやめ(晩酌)会の始まり。仲間が集まる楽しみや、新しいアイデアの発想など、ファングル塾(会の愛称)活動の知恵の源となる。



「やさい市」

毎週水曜日の早朝おばあたちの採れたて野菜が並ぶ。近隣におすそわけしてなお余るやさいたち。格好のたまり場。しばしの井戸端会議としても重宝される。



「ユネスコ未来遺産登録」

絶滅危惧種1-A(トーギョ)の保護活動が平成30年12月、日本ユネスコ協会連盟の「未来遺産2017」の登録を受け、その認定証贈与式が、集落公民館で行われた。